

わたしの学びが、ひととまちの未来を拓く





多様な人々との対話を通じた学びは、わたしを成長させ、人生を豊かにします。

新しい考え方や価値観との出会いは、好奇心や探求心を高めるとともに、自分らしい生き方を模索し、選択できるようになるきっかけとなります。また、違いを認め、互いを尊重しながら生きることの大切さにも気づかせてくれます。

予期せぬ発見と深い学びは、わたしの視野を広げるだけでなく、誰かを支える力にもなり、このまちに夢と希望をもたらします。

対話が紡ぐ「つながり」によって、視野と可能性が「ひろがり」、そして「ひととまち」の未来を拓いていく—
その一歩は、わたしの学びから始まります。

「対話」がつなぎ「対話」でひろげる ひととまちの多様性と可能性

つながり

ひととひとのつながりのなかで、
どう生きるかを学ぶ

- 学校、家庭、地域が連携し、ひととひとのつながりを育む学びの場をつくる
- 互いの個性や多様性を尊重し、違いを認め、協力し合える地域をつくる

ひろがり

視野や可能性をひろげ、「なんでだろう」
「やってみよう」の気持ちを育てる

- 主体的に考え、行動した結果を、次の行動に活かせる力を育てる
- 好奇心や探求心を育み、創意工夫と挑戦を後押しする環境をつくる

ひととまち

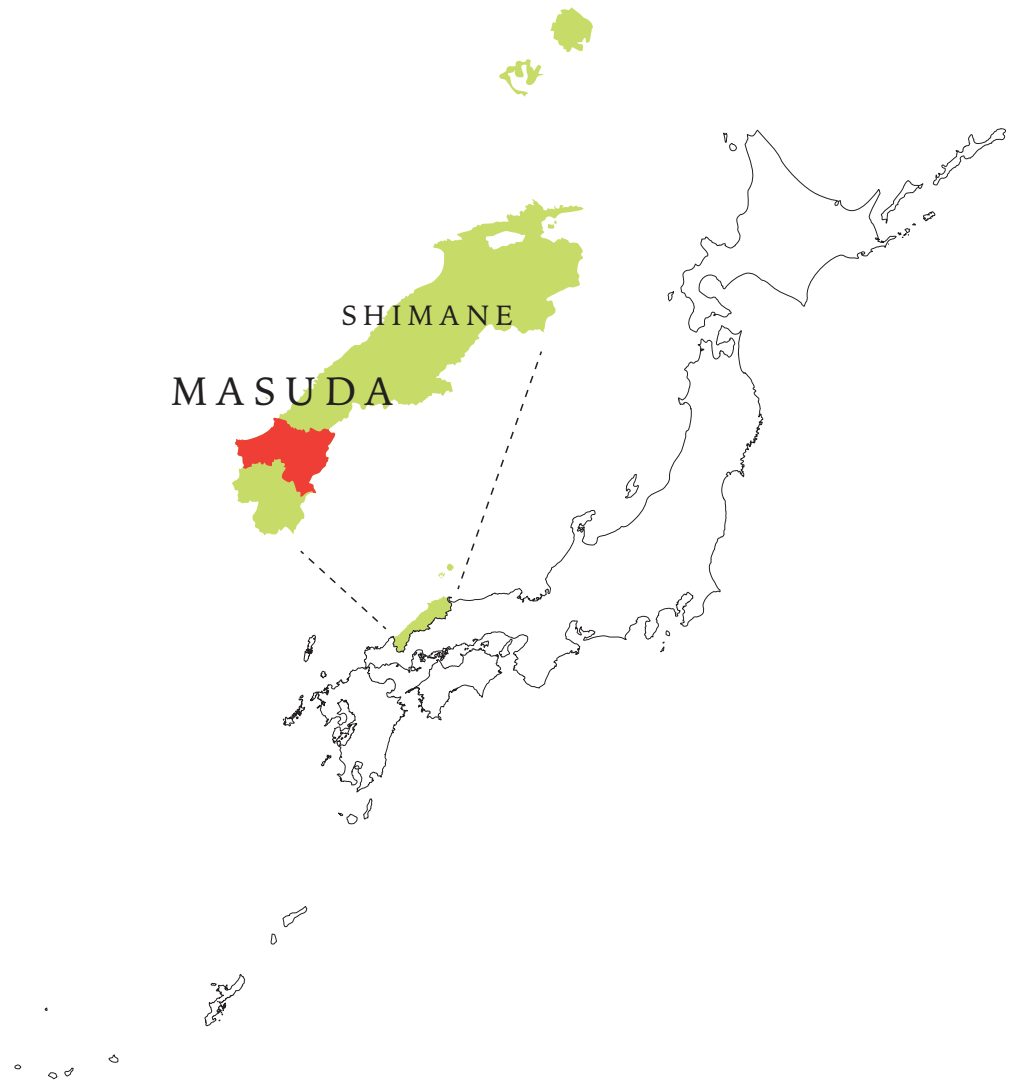
つながりとひろがり
わたしたちのまち MASUDA の未来を拓く

- グローバル、ローカル両面の視野を育てる
- 持続可能なまちづくりの担い手を育てる

本大綱の計画期間は10年とします。ただし、5年経過時に一部見直しを行うこととします。



ビジュアルのキーカラーは、
益田の風景を象徴する赤（石州瓦）・緑（山）・青（海）を基調に構成。
色が重なり合うことで、出会いと学び、個性が
響き合う多様な未来を表現しています。



ひとかたまり
輝くまち
益田

益田市教育に関する大綱

令和7年12月 策定
益田市長 山本 浩章

